

事務事業 No./名称	■サービス部門 健福-28 障害者在宅福祉事業 □支援部門						
主管課	障害者福祉課	関連課					
分野名	健康福祉						
目標 (目標値)	障害者の在宅生活支援の充実を図る。						
人口等のデータ	データ区分	23年度	22年度	21年度	備考		
	人口	177,204人	177,161人	176,669人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	79,217世帯	78,812世帯	78,131世帯			
事業の対象者数	6,741人	6,301人	6,275人				
運営資源状況	決算値(千円)	1,162,809	1,004,744	775,280			
	(国・県)	814,357	680,282	571,283			
	(負担金等)	0	0	0			
	(一般財源)	348,452	324,463	203,997			
	人員配置数	2.4人	2.4人	2.2人			
	人件費(千円)	22,259	21,905	21,481			
	協働のパートナー	無	無	無			
事務事業運営経費	総事業費(千円)	1,185,068	1,026,650	796,761			
	市民1人当りの経費(円)	6,688	5,795	4,510			
	対象者1人当りの経費(円)	175,800	162,934	126,974			
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名⇒						
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)
グループホームの設置	○	目標値	市内13か所	市内13か所	市内14か所	市内16か所	市内16か所
		実績値	市内13か所	市内13か所	市内16か所		

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H23決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止
障害者在宅福祉支援事業	1,135,759千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒	■A □B □C □D □E	
	事業の概要	居宅での介護給付費の支給や、補装具・日常生活用具の給付、重度障害者の住宅設備改造費の助成、並びに在宅で入浴が不可能な身体障害者に訪問入浴サービス等を実施した。			
障害者在宅福祉支援事業	27,050千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒	■A □B □C □D □E	
	事業の概要	障害者が住み慣れた地域で安心して自立した生活を送れるようグループホームへの支援や低所得障害者利用者負担の軽減、通所サービス事業所への送迎サービスへの事業支援等を実施した。			
		①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒	□A □B □C □D □E	
		①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒	□A □B □C □D □E	
		①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒	□A □B □C □D □E	

事務事業の課題及び取組状況

H23年度の課題	在宅障害者等への障害福祉サービスの利用増加により、給付額の増加が見込まれる。給付事業の円滑な実施を図るため、今後もこれらに対応したサービス支援体制の整備や給付量確保を図っていく。
課題解決のための取組	障害者自立支援法による給付事業の円滑な実施を図るため、今後、在宅の障害者等への障害福祉サービスの需要増加が見込まれることから、適切な障害の認定区分や支給決定事務や利用者への負担上限額の軽減措置を実施し、利用者のニーズの把握、利用状況を勘案し、新体系への移行状況の把握をして、障害福祉サービス支援体制の整備及び必要な財政支援を図った。
未解決の課題	障害者自立支援法による給付事業の円滑な実施を図るため、必要な在宅福祉サービス事業のサービス支援体制の確保を図っていく。

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	今後の方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	※□事業完了
			障害者自立支援法による給付事業の円滑な実施を図るため、必要な在宅福祉サービス事業のサービス支援体制の確保を図っていく。	↓ A	課長等名 課長(代理) 茶木 和夫

(2面) 個別事業の概要

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	23年度予算	23年度決算値	個別事業の評価結果
障害者在宅福祉 支援事業	24	身体障害者訪問入浴サービス事業	3,905	3,381	■適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
		重度障害者住宅設備改造費補助	4,900	1,734	■適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
		日常生活用具給付費	32,500	36,436	■適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
		補装具給付費	36,850	34,068	■適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
		更生医療給付費	93,600	106,712	■適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
		短期入所費	45,960	44,380	■適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
		居宅介護支援給付費	82,800	89,023	■適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
		生活介護給付費	504,000	575,020	■適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
		グループホーム等入居費	117,552	123,475	■適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
		移動介護給付費	74,400	71,739	■適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
		障害者グループホーム家賃費補助	8,088	3,180	■適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
障害者在宅福祉 支援事業	934	在宅重度身体障害者生活介護支援事業補助	9,025	9,021	■適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
		通所サービス利用促進事業補助	9,143	12,750	■適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
		地域生活サポート事業補助	5,280	5,279	■適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
					<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
					<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
					<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり